

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	ユネスコ技術援助専門家の派遣		担当部局庁	国際統括官付		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和48年度・未定		担当課室	国際統括官付		国際統括官付 国際戦略企画官 梶井 圭子		
会計区分	一般会計		政策・施策名	豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進 XIV-2 国際協力の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	ユネスコ活動に関する法律(第3条)		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ユネスコ事務局に若手の行政官等を派遣し、ユネスコに対し人的貢献を行うとともに、国際的な人材の養成を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	「ユネスコ技術援助専門家派遣事業」として、若手の行政官や研究者等の専門家をアソシエート・エキスパートとしてユネスコ事務局に派遣し、ユネスコ職員の指揮下で教育、科学、文化に関する職務に従事させる。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	45	42	39	39	39	
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	0	0	0	0		
	執行額	45	42	39	39	39		
	執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		/	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	国際的な人材の養成は、様々な活動の総合的な成果として現れるものであるため、本事業のみによる成果指標等の設定は困難			成果実績	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		/	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	派遣者数			活動実績 (当初見込み)	人	2 (2)	1 (2)	2 (2)
単位当たりコスト	19.5 百万 (円/人)		算出根拠	= 予算執行額 (39 百万円) ÷ 派遣者数(2 人) ※平成24年度				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	ユネスコ事業等拠出金	39百万円	39百万円					
	計	39百万円	39百万円					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	ユネスコでは、広く国民の支持を得ている世界遺産をはじめとして、教育・科学・文化分野における事業を行っている。本事業では、ユネスコ事務局に行政官等を派遣し、ユネスコに対し人的貢献を行い、ユネスコ事業の円滑かつ効果的な実施を図ることを目的としており、優先度が高い事業であるとともに、国が戦略的に推進していく必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—	ユネスコ事務局への行政官等の派遣に当たっては、主に派遣経費が比較的低い若手を派遣することにより単位当たりコストの削減に努めるとともに、ユネスコで定める給与規定に基づき、支出を認めている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	ユネスコ事務局での勤務は、ユネスコ事業の円滑かつ効果的な実施を図る観点から、有効な手段となっているが、他方で我が国として重点的に推進している分野において、ユネスコの活動がより円滑かつ効果的に実施されるよう派遣者の派遣先及び職務内容を精査する必要がある。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	我が国としてより政策的必要性の高い分野において、ユネスコの活動がより円滑かつ効果的に実施されるよう、本事業による派遣者の派遣先及び職務内容を精査する必要がある。具体的には、日本ユネスコ国内委員会として重点的に推進しており、2014年11月に我が国で世界会議の開催が決定している「持続可能な開発のための教育(ESD)」の担当課等が考えられる。また、ユネスコは現在、米国の拠出停止により非常に厳しい財政難に直面しているため、引き続き人的貢献を着実に行うことにより、我が国としての貢献及びプレゼンスを示す必要がある。					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	<p>1: 事業評価の観点: 本事業は、ユネスコ事務局に若手の行政官等を派遣し、ユネスコに対し人的貢献を行うとともに、国際的な人材を養成するものであり、長期継続事業及び契約・執行手続きの観点から検証を行った。</p> <p>2: 所見: 本事業は、ユネスコ事務局に派遣している行政官等の人件費の拠出等のために必要なものであるが、計画に基づいた適切な予算執行に努めるべきである。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
執行等改善	本事業は、ユネスコ事務局に若手の行政官等を派遣し、ユネスコに対し人的貢献を行うとともに、国際的な人材を養成するものであるが、より効果的な事業となるよう派遣先の精査を行い、特に、2014年11月に我が国でユネスコと共催する「持続可能な開発のための教育(ESD)」に関するユネスコ世界会議」に向け、同世界会議の担当課へ適切に派遣する。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0422	平成23年	0025	平成24年	0020

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

文部科学省
39百万円

〔 ユネスコ技術援助専門家の派遣 〕

【拠出金】

A. ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)

ユネスコ技術援助専門家派遣事業
39百万円

〔 若手の行政官や研究者等の専門家をアソシエート・エキスパートとしてユネスコ事務局に派遣し、ユネスコ職員の指揮下で教育、科学、文化に関する職務に従事させる。 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	ユネスコ技術援助専門家の派遣	39			
計		39	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ユネスコ	ユネスコ技術援助専門家の派遣	39	—	—

※拠出金事業であるため、「入札者数」及び「落札率」は記載なし